

ICT機器の導入に係る 取組事例の紹介

障害者支援施設における オンライン面会の実践等について

社会福祉法人 西南陽光福祉会 指定障害者支援施設 緑の丘

◎法人概要

法人名	社会福祉法人 西南陽光福祉会
代表者名	理事長 伊藤光彦
法人所在地	大垣市上石津町宮字中野409番地
設立年月日	平成7年5月 社会福祉法人認可

◎事業概要

事業名	施設・事業所名
障害者支援施設	緑の丘
就労継続支援B型事業所	ぐりんぴーす
多機能型事業所 （生活介護・就労継続支援B型）	ハーモニー大垣
特定相談支援事業所	緑の丘相談支援センター

◎事業拠点 2ヶ所 (車移動30分)

上石津拠点 (緑の丘)	大垣拠点 (ハーモニー大垣)
障害者支援施設 緑の丘	多機能型事業所 (生活介護 ・就労継続支援B型) ハーモニー大垣
就労継続支援B型事業所 ぐりんぴーす	特定相談支援事業所 緑の丘相談支援センター

◎施設概要

指定障害者支援施設 緑の丘

所在地	大垣市上石津町宮字中野409番地
事業内容と定員	生活介護・施設入所支援・短期入所 (50名) (50名) (5名)
開設年月日	平成8年9月1日
職員数	41名
併設施設	就労継続支援B型事業所 ぐりんぴーす

◎導入機器の紹介

パソコン	• 東芝製 ノートパソコン ダイナブック 8台
Ipad	• アップル製 Ipad 2台
Wifi ルーター	• バッファロー製 メッシュルーター 1台
その他自費購入	• イヤホンマイク等

◎導入の主な目的

オンライン面会等	・ コロナ禍における保護者との外泊、外出、対面面会に代わる安全な面会方法の確保する。
オンライン会議等	・ 感染者発生時における組織体制を確保する。 (レッドゾーンを想定)
オンライン研修等	・ リモートワークに対応した研修受講体制を構築する。

◎オンライン面会等の実践について①

案内文書の送付	施設で実施してきた年3回の帰省（年末年始・GW・お盆）の案内文書にオンライン面会を組み込み、全家族さんへ周知しました。
面会場所	施設内に、Wifiを飛ばし、相談室をオンライン面会場所と定めた。
実施方法	面会を希望する利用者さんに、担当職員が立ち会いipadを渡して、オンライン面会を開始してもらい、希望に応じて、職員は退室するようにしました。

◎オンライン面会等の実践について②



令和3年7月吉日

社会福祉法人 西南陽光福祉会 緑の丘
園長 藤田 和 俊
＜公印略＞

お盆の家族と暮らす日（帰省・日帰り外出・予約制面会等）のお知らせとお願い事項

初夏の候、保護者の皆様にはますます御健勝のこととお喜び申し上げます。
早速ですが、令和3年度のお盆の家族と暮らす日につきまして、ご案内致します。
ワクチン接種が進みつつありますが、当面の間はGW帰省と同様に、『1～2泊の宿泊帰省』
や『日帰り外出』、『予約制面会』に、『予約制オンライン面会』を加えた形で対応致したいと
存じます。

つきましては、下記の様に予定させていただきますのでお知らせ致します。
しばらくの間、ご不便をお掛け致しますが、感染予防へのご理解とご協力を頂きます様、
よろしくお願い申し上げます。

記

【実施期間】 8月 7日（土）～ 8月15日（日）

《宿泊帰省について》

- ・上記期間内で、1泊～2泊をお願い致します。

《日帰り外出について》

- ・上記期間内で、10:00～17:00の間でお願い致します。

《予約制対面面会及びオンライン面会について》

- ・上記期間内で、10:00～11:30 または 13:30～15:00 の間で、30分程度での面会をお願い致します。

※ 今回、『帰省・外出・面会の無い方』につきましては、時節の預り金・支援計画
等の確認書類は、郵送にてやり取りをさせて頂きたいと思致します。

★ 家族と暮らす日に関する感染対策のお願い事項

- ・帰省・外出中はマスク着用と手指の消毒、3密を避けて頂く様にお願い致します。
- ・人が多いところへ出掛けられた場合は、連絡ノートへ、訪問先や立ち寄り先をお書き
頂けると幸いです（感染時に感染経路を分かりやすくするため）
- ・帰省・外出中に、発熱や咳、嘔吐等の症状が見られた場合は、施設へ連絡し、連絡を
下さい。医療機関の受診をお願い致します。また、帰園時に検温等の健康チェックを
行い、症状がある場合は、帰園をお断わり頂きます。また、職員を介しての
感染拡大防止のため、医療機関の受診を保険者様でお願いを致します。
- ・帰省中に、保護者さんが感染された場合等で、ご本人が濃厚接触者となった場合は、
保健所と相談し、しばらくの間、帰園が出来なくなる場合があります（2週間程度）。
- ・園内へ入館される場合は、非接触体温計による検温と手指の消毒をお願い致します。
- ・コロナ以外の感染症（インフル・ノロ等）への感染注意も併せてお願い致します。

令和3年 <お盆の家族と暮らす日> 回答書

保護者名 _____ 利用者名 _____



《宿泊帰省》 1泊～2泊でお願い致します。

・お迎え日時 _____ 月 _____ 日（ ） _____ 時から

・お帰り日時 _____ 月 _____ 日（ ） _____ 時まで

※ お小遣いの準備を致します。



《日帰り外出》 10:00～17:00 の間でお願い致します。

・外出日時 _____ 月 _____ 日（ ） _____ 時から _____ 時まで

※ お小遣いの準備を致します。



《予約制面会》 10:00～11:30 または 13:30～15:00 の間で、
30分程度での面会をお願い致します。

・面会日時 _____ 月 _____ 日（ ） _____ 時 _____ 分から

※ お小遣いの準備はありません。



《予約制オンライン面会》 10:00～11:30 または 13:30～15:00 の
間で、30分程度での面会をお願い致します。

・面会日時 _____ 月 _____ 日（ ） _____ 時 _____ 分から

・Zoom 形式になりますので、会議 ID とパスコードを送付するメールアドレスをお
書き下さい。※ お小遣いの準備はありません。

@ _____

◎ ご回答は、7月16日（金）必着で、

返信用の封筒で、お願い致します。

今回、『帰省・外出・面会の無い方』に

つきましては、空欄で返信頂ければ幸いです。



◎オンライン面会等の実践について③



◎オンライン会議等の実践について①

実践	・ 職員1名が感染し、施設長自らが濃厚接触者になったことがあり、施設と自宅を繋いで、意思疎通を行った。
	・ 法人内の2拠点（上石津と大垣）を繋いでの意思疎通を行っている。
	・ 自治体や所属団体の主催するオンライン会議等への参加を行っている。

◎オンライン会議等の実践について②



◎オンライン研修等の実践について①

実践	• 県の主催する各種資格研修（サービス管理責任者、強度行動障害等）のオンライン研修に参加しており、複数職員の同時受講にも対応できるようになった。 （複数台導入の効果がある）
	• 国レベルの各種研修の受講が可能となった。 （遠距離の出張の必要が無い） 所属団体の諸会議、研修が軒並みオンラインとなっており、参加促進になっている。

◎オンライン研修等の実践について②



◎導入後の影響

オンライン面会	・ 家族さんへの周知は行ったが、家族さんの高齢化等もあり、今のところは、希望が無く、実績はないが、準備は完了している。
オンライン会議	・ 法人内の拠点間の会議、施設内で感染者が発生した際に活用出来た。 (県の予防的PCR検査で職員1名の陽性が判明し、施設長自らが濃厚接触者となり自宅待機となった際に、施設とズームで連絡を取り合うことが出来た。
オンライン研修	・ 県の資格講習（サビ管、強行研修等）に活用している。

◎導入にあたっての課題・助言①

オンライン面会

- 家族さんへの丁寧な説明等の対応が必要。
→文書では伝わらないことを伝える。
オンライン面会の意義を伝える。
- スマホ等でも簡単に繋げれる工夫が必要。
→出来るだけ、簡易な方法を提案する。
- 家庭内が写ることを嫌がられる。
→バーチャル背景等、高度な技も必要。
事前に、接続テスト等を行う。

◎導入にあたっての課題・助言②

オンライン会議

- ブロードバンドの高速対応が必要
→複数台でZoomを使用すると固まる
ことがある。
山間地域は、ADSLしか使えない場
所がある。
ポケットWifi等の導入も検討する。
- 職員のスキルアップが必要
→業務でICTを活用することに慣れて
いない。
ICT自体の研修を行う。

◎導入にあたっての課題・助言③

オンライン研修

- ipad等のタブレットでは、Zoom等の機能が制限されることがある。
→研修はパソコン使用を前提とし、タブレットは、予備的に考える。
- 施設内に、『オンライン研修室』等を設置する。既存の会議室や事務所では落ち着かないし、相手方に不快である。

◎導入にあたっての課題・助言③

全体として

- 関係者のスキルアップが最大の課題。
- インフラ面、Zoom等の管理料（無料枠の40分以内にする等）や通信環境の改善等で費用が掛かる。
- 私たち自身のICTに対する意識改革が必要であると思われます。

ご清聴ありがとうございました。

社会福祉法人 西南陽光福祉会
指定障害者支援施設 緑の丘
施設長 藤 田 和 俊